問４１

WAFは、ウエーブ・アプリケーション・ファイヤーウォール

Webアプリケーションのやり取りを監視。

Webサーバの直前に配置する。

問４２

ゼロデイ攻撃

セキュリテイパッチが適応される日の前（ゼロディ）に攻撃する。

問４３

デジタルフォレンジック 【 digital forensics 】 コンピュータフォレンジック

computer forensics / フォレンジック / forensics / ディジタルフォレンジクス

デジタルフォレンジックとは、不正アクセスや機密情報漏洩などコンピュータに関する犯罪や法的紛争が生じた際に、原因究明や捜査に必要な機器やデータ、電子的記録を収集・分析し、その法的な証拠性を明らかにする手段や技術の総称。"forensics" には「法医学」「科学捜査」「鑑識」といった意味があり、分かりやすく意訳すれば「デジタル鑑識」。

<http://e-words.jp/>　を参照。

問４４

ブルートフォース攻撃

可能性がある文字のあらゆる組合せのパスワードでログインを試みる。

問４５

ベネトレーションテスト

実際の攻撃手法と同じ手段で攻撃を実施し、ファイアウォールや公開サーバに対するセキュリティホールや

設定ミスの有無といった脆弱性をチェックする疑似攻撃テスト。

参照　合格教本（「応用技術者合格教本」を略す）

問４６

DFD（データフローダイアグラム）

データストア同士また、データストアと外部（源泉、吸収）は、直接データフローで結ばれることはない。

必ずプロセスが介在する。

参考　合格教本

問４７

ピア【peer】同僚。仲間。同輩。

問４８

Nab／N　＝　Na／N　×　Nb／N

Nab　×N　＝　Na×Nb

N　＝　Na×Nb／Nab

問４９

リファクタリング

完成済みのプログラムでも随時改善し、保全性の高いプログラムに書き直す。

その際、外部からの見た振る舞い（動作）は変更しない。

問５０

アクティビティやタスクを適切に変更する。技術やツールを提示している訳ではない。

問５１

スコープとは、プロジェクトの範囲。成果物およびそれを創出するために必要な作業。

WBSとは、プロジェクトで作成する成果物や実行する作業を階層的に要素分解し、スコープ全体を定義し表現したもの。

問５２

EVMとは、

プロジェクト全体のスケジュールの遅れやコストの超過を可視化する進捗管理法

問５３

A－B－E－G　がクリティカルパス。

Gの手前の結合点を比較すると

A－B－E　１５日

A－D－F　１２日

B、E、Gのどれかを１日短縮する。

一番、費用増加率が少ないのは、Eです。

問５４

ファンクションポイント法は、

システムがユーザに提供する機能を規定の方法により定量化し、それをもとにソフトウェアの規模や開発工数

を見積もる方法です。システムの外部仕様の情報から見積もることができる。

問５５

CSFの意味に注意。

インシデントを解決し、インパクトを最小限にしたことを表す項目を選択する。

サポート・レベルに問合せしないで解決できたインシデントの数は、早期に負荷なく解決できたと言える。

問５６

サービスレベル管理プロセスは、

サービスレベル・アグリメント（SLA）が守られているか管理することです。

まず、SLAを作成し合意することで始まる。

問５７

問題管理は、

インシデントを根本的に解決するプロセスです。

ソフトの変更は、変更管理で行う。

問５８

予備調査は、

事前に行う実体の把握。等

問５９

伝票が漏れなく重複することなく入力されたかの証明は、

伝票とシステムに取り込んだリストを突き合わせすることで判断できる。

照合されてことを確認しているかは、照合印で確認する。

問６０

内部統制は、営業部門内の意味ではない。

適切な統制は、担当者独自の判断でなく、適切な部署で管理されているかを問うものである。